



四季報



vol.45

令和3年1月31日発行

編集長 溝口真理枝

LOKホールディングス

首藤会長

LOKホールディングスグループの皆様明けましておめでとうございます。

昨年からの苦難を今年も出足から引き継いでのスタートとなり新年の挨拶としてはとても皆様に明るい挨拶とならずに痛い思いです。

しかしどんな時代が来ようと私達は家族を守り仲間を助け生活の為に会社を歩ませなければなりません。今国が何をしてくれるかではなく自分が何をどう行動するかだと思います。

あくまで国はサポートしてくれるだけ、家族や仲間と変わらない生活を送るためには自分が何をすべきかわかれる時代の新年を迎えたと思います。

今回のウイルスの猛威は、皆さんの周知の通り、人間にも社会にもダメージを与えています。勿論経済にも。世界的な落ち込みの中、逆に売り上げを伸ばす業種、業態も有りました。ドラッグストア、ホームセンター、スーパー等々、また何故か株価は上昇？

なにが言いたいかと言いますと、見方を変えれば困難な時期でも伸ばす業種、業態が有ると言う事です。

考え方、やり方、工夫ひとつで新しい進歩が出来ると言う事です。

LOKホールディングスグループはそう言う考え方で進歩して行きたいと思えます。家族や仲間を大事にそしてそれを支える仕事を進歩させる事を考える一年にしましょう。

(株)ケイテック

社長 山内 英一

【変わるもの。変わらないもの。】

皆様お疲れ様です。

ホールディングスの各会社や個人の皆さまも昨年一年新型コロナウイルスの影響を多大に受けられたことと思えます。

今まさに私たちの職種もコロナの打撃を受けている状況の中どうあるべきかは皆さんも考えていると思えます。その中いつまでこの状況なのかコロナ禍が無くなった時にコロナの前の時の様に果たして戻れるのか

コロナ禍が無くなってもコロナ前の時には全て戻るとは思いません。

ここ3年ほどは色々な変化の対応や発想をしていかなければいけないと感じます。

実際今までは直接企業の方とお会いして営業や商談をしていた事が多いと思えますが、今後この3年ほどで直接お会いしない営業や商談が増えて行くのかもしれない。

そこでいかに直接お会い出来た時よりこちらの思いや熱意を伝えていくかも課題となると思えます。そして信用というのは一朝一夕で得られるものではありません。

ひたすらコツコツと真向に真剣に取り組んでいくことで信頼が蓄積されます。

私たちがしている仕事は《人対人》です。

それは世間や世界が変わっても変わりません。

人と人がこれまで以上に思いを持った関係性が出来て行く事を望んでいます。

商売をする者にとって原点となる大切な部分をもう一度考えてみましょう。

振り返ることで新たに大切にすべきものや気づきを発見できるかもしれません。

小林社長

令和三年、1月おめでとうございます。

昨年3月より、今日迄大変な中、本当に、各社長様、従業員様、メンバー皆様、いろんな心配で一年、過ごされた事でしょう。本当にお疲れ様でした。今年も皆様と、仕事が出来事に、感謝いたします。苦しい中、新会社が出来ました。

令和1年に人財育成事業協同組合 代表理事 陰地 豪、令和2年、エイコーライフ(株) 森 政幸社長 おめでとうございます。みんなで協力して、愛されるグループ企業にしましょう。

一昨年の5月には、平成から令和に年号が変わりました。この年の9月に台風15号が千葉県に上陸し甚大な被害をもたらしました。10月にも台風19号が伊豆半島に上陸し静岡県や長野県が豪雨に見舞われ、この時は会社の親睦旅行でしたが、千曲川の堤防が決壊してしまったので行けませんでした。他、沖縄県の首里城が焼けてしまったのも元年、消費税が8%から10%にあがったのも元年、大変な令和元年でした。

令和二年に変わり、さあ～頑張ろうとした矢先に、新型コロナウイルスが流行し、3月、4月には、緊急事態宣言発令され5月に解除されても、グループ会社が大打撃を受けました。

今年も2月7日迄、緊急事態宣言で、忘年会、新年会、歓迎会、パーティーが出来なくなり、運送部門は荷物が中々集まらない、大変な毎日です。

こんな時こそ、グループ企業全体で

知恵を出し合って、行動的に動いて、将来に結果が出る様に元気を出して、しっかり前向きに考えて下さい。新型コロナウイルスが早く終息するのをお願い、普通の事が普通出来たとき、LoKホールディングス全体が、一歩前に進めるよう、皆さまと友に、結果をだせる様に、社長様、従業員様、グループメンバー皆様、どうぞよろしくお願い致します。

これからも、皆様全員が、健康で元気に、今年の、オリンピックが開催され、笑顔で応援出来る様に願い、私も昨年より今年、昨日より今日、今日より明日が一歩前に進んでいる様に、毎日、頑張ってます。

エイコー仮設工業(株)

社長 北原 五郎

LOKホールディングスの皆様お疲れ様です。

年が明け2021年になり1ヶ月が過ぎようとしていますが、未だコロナの終息が見えてこない中、皆さんも感じているかと思いますが、昨年に比べ今年の方が建設業界、運送業界だけでなく世の中、全てが厳しくなっていくかと思えます。

そこでまず、今年はいよいよ一層グループ同士がどんどん交流をし、お互いが協力し合い売上に繋がり、笑顔で相談しあえるLOKHDを作っていきたいと思っています。

各社の皆様2021年の目標として、コロナ前の売上に戻せるよう頑張らしましょう。売上を戻すには、経営者だけではなく従業員の皆様も仕事は当たり前のようにあるのでは無く、仕事は作るもの、仕事は探すものと思ひ、今年も目標をもって改めて自分は今、何が出来るかを考えてみてください。

ちなみに、今年の目標としてコロナ前の売上げに戻すと言いましたが、私は1年の目標がステップアップするのであれば何度変わってもいいと思っています。

今年の目標が変えていけるようLOKホールディングスの皆様力合わせて頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

陰地副社長

「変革と成長」

あけましておめでとうございます。新しい年、2021年が始まりました。

昨年は、コロナウイルスに翻弄された一年でした。今回のコロナウイルスによるパンデミックは、全世界で大混乱がおき、社会全体が想像を超えた認識、思想、価値観を大きく変え、変化しました。この劇的な変化の中で、私たちは、立ち止まるのではなく、自らが変わり、この変化に対応しなければなりません。スピード感を持った挑戦を無くして、変革と成長の現実はありません。

準備八割、本番二割の成果が「LOKホールディングス」の変革と成長に繋がると思っています。

今回のコロナ禍は大きな痛みを伴いましたが、一方で、多くのこれまでの企業が壊せないと思ってきた古い文化や認識を変え、新しい企業文化づくりに大きく舵を切っています。この劇的な変化に対応する新しい働き方、即ち、オンライン技術を活用し、リモートワークを取り入れ、同時に構想力、発想力、直観力を磨く努力をする事で、社員一人一人がより効率的で、生産性の高い業務遂行力を身につける事により、変革と成長を現実にしていくことです。

私たちは、次々と襲い掛かってくる想定外の困難を果敢に乗り越え、逆境を跳ね返し挑戦し続ける熱い思いこそ「LOKホールディングス」の底力です。

引き続き予断を許さない厳しい情勢が続きますが、「LOKホールディングス」の仲間が一丸となって元気で笑顔が絶えない、「LOKホールディングス」を創りましょう。

(株)パートナーズサポート

社長 伊藤 俊一

禍福は糾える縄の如し

去年は、コロナに振り回された1年。年末の番組を見ていて、1年前の町の様子との違いに、わずか1年が遠い昔のように感じられます。

年末から感染が拡大し、年が明けて緊急事態宣言が発出されました。さすがに第3波ともなると心身ともに疲弊します。とはいえ、過去にも大きな疫病や災害を乗り越えて今があります。26年前、阪神淡路大震災の直後に現地に取材に入ったとき、この災害からの復旧はどれだけかかるのだろうと先行き不安で、足がすくみました。それでも、数年後には元の活気が戻っていました。

コロナ禍といわれるようにコロナも疫病という災害です。政治の混乱に振り回されてはいますが、陽の昇らぬ朝はありません。コロナ後を見据えて活動を続けながら、その時に備えましょう。

今年も、当社も設立3年目。社名の由来となったグループ内企業のサポートや各種コンサルティング、経営課題の解決が本業です。その役割を果たすため、事業展開を進められるよう一緒に考えていきます。

禍福は糾える縄のごとし。災いと幸福は縄を編むように交互に訪れるものという教訓です。う信じて今年も頑張らしましょう。



みつばちハッチさんのフリートーク



クローバーサービス

部長 奥 雅俊

メンバーの皆様、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

令和も3年度となり今年には明るい年になることを心から願いつつ、年を越しましたが、世の中はコロナウィルスのお話で持ちきりになっていますね。ここにきて変異ウィルスなど、さらにコロナが蔓延しており、私の身の回りでもすぐそこまでコロナがきているのではないかとビクビクしながら日々を過ごしています。おかげさまで、今のところは私の身近で感染したとの報告はきておりませんが、まだまだ気を付けていかなければいけませんね。

さて、令和2年はコロナウィルスの影響で東京オリンピックの延期、高校野球の春夏中止などスポーツ界にも大きな影響がありました。私も高校時代に野球をしていましたので、高校野球の春夏中止は3年間一生懸命やってきたことが無駄になってしまう、そして一生に一度しかできない高校野球、本当に無念で仕方がなかったと思います。高校球児たちの事を思うと胸が痛くなる思いです。

コロナウィルスの影響で暗い話題が続きましたが、新年1発目の四季報ですので明るいことも書いていきたいと思います。

私の中での明るい話題と言えば、今や社会現象となっている鬼滅の刃、将棋の藤井聡太さん最年少タイトル獲得といった明るい話題もありました。

ちなみに鬼滅の刃、映画最高でした！！

世の中、暗い事ばかりではなく明るい話題も、もっとピックアップして、気持ちも明るく前向きにいききたいですね。

私も今年には変化に富んだ1年にしていきたいと、いろんなことにチャレンジし、前に進んでいけたらと思います。

では、令和3年度も皆様どうかよろしくお願い致します。

株東海急走

社長 田口 志郎

今年で、東海急走2年目の正月を迎えることができました。コロナとともに成長？を続けていますが、今年には新しいメンバーも増えて心機一転！

LOKグループとしても、エイコーグループの方々とも話をする機会も増えてきて

今年には飛躍の年となるような気がしております。

準備8割、本番2割

本番を楽しんでいけるようしっかりと準備期間として今をとらえ、

コロナ終息に向け、日々精進していきたいと思っております。

エイコーライフ株

社長 森 雅幸

LOKホールディングスの皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりました。本年も宜しくお願い致します。

弊社は今年2年目に入りますが、目標としては会社の成長と今期の売り上げを超え、そしてLOKホールディングスの一員として、またエイコーグループの一員として、皆様に認めてもらえるよう頑張っていきたいと思っております。

ただ、いまだにウィルス感染者が高止まりで緊急宣言が出されている中で、今までのような営業活動が思うようにできない中、まずは知恵を絞りを形にして実行していくしかないと思っております。

しかし悪いことばかりではなく、コロナウィルスのワクチンもきワクチン接種も2月末から始まるとのこと。終息までには少し時間がかかるとは思いますが、終息した後に準備ができていないとためなので、今から先を見据えコロナ終息後にむけての準備をしっかりやっていきたいとおもいます。まだまだ新米です。皆様の知恵を借りると思っておりますが、頑張っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

dank(Dank班)

部長 岩谷 昌治

お疲れ様です。新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

令和3年になりました。未だコロナ禍の影響が各地で広がり新年早々緊急事態宣言が出てしまい深刻な状況が続いています。去年の今の時期、まださほど影響は出ていなかったですが、今年は運送関係にも明らかに影響が出てきています。ワクチン接種が2月末から始まるような事はテレビのニュース等で報道されていますがすぐには元のさやには収まらないと思います。

自分の体は自分で守るしかないと思います。今しばらく時間が掛かると思われかもしれませんがみなさんと一致団結してこの状況を乗り越えていかなければならないと思います。乗り越えた先にはきっとまた仕事は忙しくなると思います。仕事が多忙になればその分大変ですが、生活も安定しプライベートでも楽しいことがいっぱい待っていると思います。今はその為に楽しいことは少し自粛して今与えられたことを感染予防しながら、こなし続けていきたいと思います。

株愛知共同企画

社長 富安 英樹

気持ちを向上きに

人は良い時もあれば、悪い時もある。沈んだ「流れ」をいかに短くすることが大切だと思う。

調子が良い時は出来るだけ長い間、その運気を伸ばしていくように努力をする、調子が調子の悪いなと思う時は素早くその「流れ」を変える努力をする。

日々の出来事で感じたこと、気になったことに目を向ける。これは神様が自分にメッセージを与えてくれていることだ。

人間はつい、頭の中でソロバンをはじいて舵をきる。しかし、損得勘定だけで生きていくことは正しくない。自分に正直に生きていくことが大切だ。

明るく、楽しく、前向きに生きていくこと。これが幸せな人生！いつもありがとうございます。

Lite(ライト)

部長 小杉 祐紀

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は本当に大変な年になりました。今年には皆様にとって飛躍の年になる事を心から願っております。

私達Liteは冷蔵・冷凍車で主に食品の配送をしております。昨年と今回の緊急事態宣言の発令に伴い、飲食店が時短営業や休業した事により、かなりの影響が出ました。その中でも影響が大きく、取引が無くなってしまった仕事もありますが、逆に増えている仕事もあります。その仕事は、海外からの入国者はホテルで2週間の隔離生活をしなければなりません、その方達へお弁当を届ける仕事です。これが毎日の様に数人ずつ増えていき、今では一回の配送で300食(300人)を超えております。もちろん手袋、消毒、そして手渡しではなくドアノブに掛けてくるやり方で感染症対策はしっかりしております。

今回の様に、今の時代は何が仕事に繋がるか分かりません。色々な事に目を向け、耳を傾け、情報を仕入れ、どんどん新しい物を取り入れていきましょう。そして2021年が終わる頃には良い一年だったと言える様に全員で頑張っていきたいと思います。まだまだ感染者の数は増加傾向にあります。引き続き気を引き締め、感染症対策をお願いします。

愛知人財育成事業協同組合

事務局長 上竹 純孝

新年あけましておめでとうございます。皆様 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。さて昨年の組合設立1年目は新型コロナの影響を差し引いてもまったく不本意な1年でした。

10名弱の技能実習生の獲得、企業様への紹介がすべてでした。2年目の今年には心機一転たとえwithコロナの中でも企業訪問を中心にDM等も駆使して確実に技能実習生の獲得を目指します。

また技能実習3年間で満了した実習生を、継続して5年更新可能な1号特定技能へ移行させる支援業務にも力を入れていきたいと考えております。皆様のお客様で『人手が足りない』とのご相談があれば、愛知人財育成事業協同組合までご一報下さい。

前回の定款変更でほとんどの職種で技能実習生の紹介が可能になりました。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

株タクト

コロナ時代

社長 永田 剛史

この1年で世の中は大きく変化しました。その変化に我々はどうついていけているのでしょうか？私は、コロナを負の経験としてではなく、むしろプラスの経験として捉えています。

リモートの普及によって、移動の無駄がなくなりました。打合せや会議があっても、時間ギリギリまで違う仕事ができ、より効率的になったと思います。「リモートだと現場や商品を見なければわからない」という声が聞こえてきますが、動画で現場を確認したり、商品を確認したりは出来ます。立体感が必要であればVRを活用するだけの事です。また、「リモートだと信頼関係が出来ない」という事であれば、リモートで会う回数を増やせばいいだけです。その人と会う回数が多い事が、信頼関係につながると言うデータもある程ですから。特にリモートを経験された方ならわかると思いますが、リモートほどその人間性は顕著に表れるので、対面よりも本当の意味での人間関係が出来るとは思っています。私がここまでリモート、時代の変化について話をするかの根本にあるのは、数年後に活躍するであろう世代の人は、こうした時代を学生として経験して社会に出ます。働き方改革、コロナ禍を経て、働き手が会社を見る目は、今以上に厳しい目で、進化した目で見られます。そうした時に選ばれる会社になる為にも私は、常に新しいものを取り入れ、タクトを進化させていきたいと思っております。

最後に、人と話をする際はマスク着用を徹底しましょう！あなたが話をするたびに飛沫が飛びます。相手がマスクをしていても、飛沫から何かを介して感染します。自分は無症状感染者かもしれない。そんな相手を思いやる気持ちで、コロナ時代を生き抜きましょう！

株エイトエクスプレス

専務 大堀 武宏

皆様お疲れ様です。半年前の自分の予想では、今頃コロナ騒動も収まり仕事もどんどん忙しくなってくると思っていましたが、全く逆の状況になってしまいました。

一度目の緊急事態宣言が出された昨年4月、5月に仕事が激減し、宣言解除後にこれから頑張ろうという強い意志を持って売上を上げてきましたが、二度目の緊急事態宣言が出た今年1月になってからまた仕事が減りつつあります。宣言が解除になった後に本当にコロナが収まるのだろうかという不安もあります。三度目の緊急事態宣言が出されたら、さすがに死活問題です。今までは「人が集まる所」「人が楽しむ所」に物を運んでいましたが、今後は「人が必要な物、無いと困る物」を中心に運ばないといけないと思っております。

人類は大昔から今まで天然痘、ペスト、結核、マラリア、インフルエンザなどさまざまな感染症を経験してきていて、どんなに科学が発達しても根絶するのは時間がかかってきました。今回のコロナ禍で思ったことは、早く終息してほしいのは当然ですが、他力本願にならずに、その状況にこちらから合わせて仕事も考えていかなければならないという事です。

《お知らせ》

LOKホールディングスでオフィス用品の取り扱いを始めました。営業ツールとしてお使い下さい。詳しくは、松原まで

